

## 令和3年度 第1回 地方独立行政法人長野市民病院評価委員会 議事録

1 日 時 令和3年7月8日(木曜日) 午後1時58分から午後4時00分まで

2 場 所 長野市役所 第一庁舎7階 第1・2委員会室

### 3 出席者

(出席委員)

中山 淳 委員長  
川合 博 委員  
北村 正博 委員  
小林 邦一 委員  
坂口 直子 委員  
柳原 静子 委員

(委員以外の出席者)

池田 宇一 (地方独立行政法人長野市民病院理事長)  
平井 一也 ( 同 副理事長)  
内山 詞恵 ( 同 理事)  
望月 勇次 ( 同 理事)  
内川 利康 ( 同 事務部副部長兼財務課長)  
渡辺 敏明 ( 同 法人事務局次長兼企画課長)  
蓮見 亮 ( 同 財務課長補佐)  
大内 規生 ( 同 企画課係長)

(事務局)

中澤 和彦 (長野市保健福祉部長)  
小林 雅裕 (長野市保健福祉部医療連携推進課長)  
相澤 優充 ( 同 医療連携推進課長補佐)  
立山 晴樹 ( 同 医療連携推進課係長)  
梶川 稚菜 ( 同 医療連携推進課主事)

### 4 議 事

(1) 令和3年度の審議事項等について

・令和3年度審議事項及びスケジュールについて(案)

【資料1】

(2) 令和2年度の財務諸表等について(報告)

・令和2年度決算の概要

【資料2-1】

・財務諸表等

【資料2-2】

・事業報告書

【資料2-3】

- ・監査報告書 【資料 2-4】
- (3) 令和3年度 年度計画について（報告）
  - ・地方独立行政法人長野市民病院 2021 年度年度計画 【資料 3-1】
  - ・第2期中期計画・2021 年度年度計画 対照表 【資料 3-2】
- (4) 業務実績評価の進め方について
  - ・業務実績評価について 【資料 4-1】
  - ・長野市民病院の業務の実績に関する評価実施要領（抜粋） 【資料 4-2】
  - ・業務実績評価実施要領 評価対象期間別比較表 【資料 4-3】
- (5) 令和2年度の業務実績に関する評価について
  - ・令和2年度業務実績報告書 【資料 5-1】
  - ・令和2年度業務実績自己評価一覧 【資料 5-2】
- (6) 中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に関する評価について
  - ・第2期中期目標期間終了時に見込まれる中期目標期間業務実績報告書 【資料 6-1】
  - ・中期目標期間業務実績自己評価一覧 【資料 6-2】

○ 開 会 午後1時58分

（事務局）

皆様お揃いになりましたので、始めさせていただきます。委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

本日は、全委員がご出席されており、地方独立行政法人長野市民病院評価委員会条例第7条第2項の規定で定めます定足数を満たしておりますので、ただいまから、令和3年度第1回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を開催させていただきます。

本日、委員長が選任されるまでの間、会議の進行を務めさせていただきます、保健福祉部医療連携推進課 課長補佐の相澤でございます。

本日の会議は、午後4時頃の終了を予定しております。

また、委員会は、公開で行い、議事録調製のため、録音させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

次に、委員の委嘱をさせていただきます。お手元にお配りしました委員名簿のとおり、新任の方が1名、再任の方が5名、計6名の皆様に令和3年5月19日付けで委嘱を申し上げるものでございます。なお、委嘱書の交付につきましては、大変恐縮でございますが、あらかじめ委員の皆様方の机上に配付させていただきましたので、よろしく願いいたします。

任期は、令和5年5月18日までの2年間でございます。

それでは、新しく就任された委員さんもうらっしゃいますので、委員の皆様から自己紹介をいただきたいと存じます。おそれ入りますが、小林委員から、時計回りで順番に自己紹介をお願いいたします。

<委員自己紹介>

（小林委員、北村委員、柳原委員、坂口委員、川合委員、中山委員）

(事務局)

ありがとうございました。委員の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、本年度第1回の評価委員会の開催に当たり、中澤保健福祉部長からご挨拶を申し上げます。

(中澤保健福祉部長)

ご紹介いただきました、保健福祉部長の中澤でございます。

本日は公私ともお忙しいところ、またお足元の悪い中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。開会に当たりまして一言ご挨拶申し上げます。

この度は、評価委員会の委員のご就任をお願いしましたところ、快くお引き受けいただきまして、御礼申し上げます。これから2年間、委員をお願いすることになりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

早いもので、長野市民病院が、地方独立行政法人に移行して、6年目を迎えまして、この間、市民病院の運営につきましては、池田理事長をはじめ、病院スタッフのご尽力によりまして、順調に推移をしているところでございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、社会全体に大きな打撃を及ぼしておりますが、病院経営につきましても、受診控えなど大きな影響を受けております。この間、長野市におきましては、地方創生臨時交付金やクラウドファンディングを活用して、市内医療機関に対し、支援をしております。引き続き、適時適切な支援に努めてまいりたいと考えております。

また、ワクチン接種につきましては、医師会や医療機関のご協力を賜りながら、4月下旬から順次、高齢者に対する個別接種を開始し、5月29日からは、歯科医師会、薬剤師会、大学などのご協力をいただきながら、集団接種も併せて実施してきております。これまで市内の高齢者の接種率は、7月7日現在で、1回目は75%、2回目が50%ということで概ね順調に推移しております。今後は65歳未満の方の接種につきましても本格的に実施してまいります。ここに来て、新聞報道にありますとおり、国から供給されるワクチンについて、7月以降、市町村向けのファイザー社のワクチンがかなり減るということでございます。当面は市民の皆様に混乱を招かないよう配慮しながら、慎重にワクチン接種を進めてまいりたいと考えております。

本年度は、令和元年度から3年度までの現行中間計画の最終年度に当たります。この評価委員会では、令和2年度の業務実績評価のほか、中期目標期間3か年の見込みの業務実績の評価と、それを踏まえた次期中期目標及び中期計画につきましてご審議をいただく予定でございます。委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが私からのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

(事務局)

次に、事務局から自己紹介申し上げます。

<事務局職員自己紹介>

続きまして、本日、地方独立行政法人長野市民病院の役職員が出席しておりますので、自己紹介させていただきます。

#### <法人職員自己紹介>

(市民病院)

本日、西村副院長、松田副院長、吉池副院長、草野副院長、福島総務課長、塚田企画課主査は、音声のみのリモート参加をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

次に、委員長選出でございますが、委員長につきましては、評価委員会条例第6条第1項の規定によりまして、委員の互選によることとなっております。

選考の方法につきまして、委員の皆様にお諮りいたしますが、いかようにしたらよろしいでしょうか。

(北村委員)

事務局一任でお願いしたいと思いますが、腹案がありましたら、お願いします。

(事務局)

それでは、事務局からご提案申し上げます。

委員長には、国立大学法人信州大学医学部長 中山委員 に引き続き、お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

(相澤補佐)

ただいま、異議なしとのお声がありましたが、皆様よろしいでしょうか。

それでは、皆様のご賛同をいただきましたので、委員長は中山委員にお願いすることに決定いたしました。

大変恐縮ですが、ここで中山委員長には、委員長席にご移動をお願いいたします。

それでは、中山委員長からご挨拶をお願いいたします。

(中山委員長)

着座にて失礼いたします。ただいま委員長を仰せつかりました中山でございます。

本日お忙しい中、またコロナ禍の中、長野市民病院の評価委員会にご参加いただきまして誠にありがとうございました。

先ほど中澤部長からもご説明がございましたが、本年度評価委員会では、令和2年度の業務実

績評価、第2期の見込み実績評価、中期目標終了時の検討、そして第3期の中期目標など多くの審議事項が予定されております。どうぞ有意義なご審議をお願いできればと思います。

それではこれから約2時間の長丁場となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

続きまして、評価委員会条例第6条第3項の規定により、委員長職務を代理する委員を、委員長があらかじめ指名することとなっておりますので、中山委員長にご指名をお願いしたいと思います。

(中山委員長)

それでは、私からお願いしたいと思います。委員長職務を代理する委員には、長年にわたり委員をお務めいただいている小林委員をお願いしたいと思います。小林委員よろしいでしょうか。

(小林委員)

はい。

(事務局)

ありがとうございました。

次に、本日ご審議いただき、令和2年度の業務実績評価につきましては、評価委員会条例第2条第1項第2号の規定により、評価委員会は、市長の諮問に依りて、意見を述べることとなっております。

つきましては、本件を評価委員会へ諮問させていただきますので、保健福祉部長から委員長へ諮問書を伝達いたします。

<諮問書交付>

(事務局)

それでは会議事項に入らせていただきます。

評価委員会条例第7条第1項の規定によりまして、委員長が議長となりますので、ここからは中山委員長に議事の進行をお願いいたします。

(中山委員長)

それでは、会議事項(1)令和3年度の審議事項等について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料1について説明

(中山委員長)

ご説明ありがとうございました。本年度は5回の委員会が予定されているということでございます。委員の皆様からご質問等ございましたらお願いできればと思います。

いかがでしょうか。よろしいですか。それではないようですので、次の議題にまいりたいと思います。(2) 令和2年度の財務諸表等について、長野市民病院からご説明をお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

(市民病院)

#### 資料2-1～4について説明

(中山委員長)

ご説明どうもありがとうございました。それでは、令和2年度の財務諸表等につきまして、ご質問があれば、よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。

(小林委員)

資料の予算の表は、資金ベースとなっています。それから、資金計画の表は、キャッシュフローに相当となっています。例えば、給与費について見ると、資金ベースの給与と、キャッシュフローベースの給与費の支出額が違ってきます。他の項目もそれぞれ少しずつ違ってきますが、この違いは何でしょうか。

(市民病院)

費用になったものがすべてキャッシュになっていないのは、未払のものがあるためです。例えば、賞与引当金は、費用に積んでいますが、実際に支払うのは年度を跨いだ時期となるため、差額が出ます。残業代についても未払で計上します。3月分の残業代は、費用に計上しますが、支出は4月になるので、キャッシュでは出て行っていないため、差額が生じます。

(小林委員)

キャッシュフローベースはあくまでも3月31日で締めるけれども、資金ベースの決算額は、4月5月の猶予期間を考慮しているということですね。

(市民病院)

そうです。

(小林委員)

わかりました。ありがとうございました。

(中山委員長)

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。よろしいですか。それではないようです

ので次の議題にまいりたいと思います。(3) 令和3年度の年度計画について、長野市民病院からご説明をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

(市民病院)

資料3-1～2について説明

(中山委員長)

ありがとうございました。それでは、ただいまご説明がございました令和3年度の年度計画につきまして、ご質問がありましたらよろしくお願いいたします。

(川合委員)

救急ワークステーションの体制維持とありますが、具体的には、どのような体制でどのような活動内容をされているのか教えていただければと思います。

(市民病院)

毎年消防局の方と情報交換会を行っておりまして、平成29年にその席で、救急隊員のレベルアップを図りたいという意見があり、県内で初めて救急ワークステーションをやろうということになりました。当院の近くにある柳原分署の救急隊員が、昼間、市民病院の救急外来に勤務をし、出動命令があれば市民病院から出動します。そのまま当院に搬送する場合もありまして、その場合、そのまま治療にも一緒に当たります。また、待機時間には、レベルアップのトレーニングを受けています。最初は2年間試行期間で実施しましたが、一昨年から本格運用に移行し、週3回、当院に常駐して出動しています。

(川合委員)

救急車も病院に待機しているということですか。

(市民病院)

救急外来に待機しています。救急隊にとっては、レベル向上が図られるため、大変好評です。我々も救急隊の方と昼間、コミュニケーションをとることができるため、非常にうまく機能していると思っています。

(中山委員長)

他にはいかがでしょうか。よろしいですか。どうもありがとうございます。

それでは次の議題にまいりたいと思います。(4) 業務実績評価の進め方について、事務局からご説明をお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

(事務局)

資料4-1～3について説明

(中山委員長)

ご説明どうもありがとうございました。委員の皆様からご質問等ございましたらお願いできればと思います。いかがでしょうか。よろしいですか。ありがとうございます。

それではないようですので次の議題に移りたいと思います。(5) 令和2年度の業務実績に関する評価について、事務局からご説明をお願いできればと思います。よろしく申し上げます。

(事務局)

それでは資料の5-1をご覧ください。これは6月30日付けで、長野市長宛に提出された令和2年度業務実績報告書でございます。また、その下にあります、資料5-2につきましては、法人の自己評価を一覧表にまとめたものでございます。

先ほどご説明しました、評価実施要領に基づき、この報告書に沿いまして、中項目ごとの評価をお願いしてまいりますので、よろしくお願いたします。

(中山委員長)

ありがとうございます。それでは審議の進め方でございますが、まず、長野市民病院から、中項目ごとにご説明をいただきたいと思っております。そのあと、委員の皆様から中項目ごとにご質問とご意見をいただき、評価委員会としての評価点を提示するようにしたいと思います。いかがでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。それではそのような方向で進めさせていただければと思います。

それでは、資料の5-1の6ページの、大項目の第1のうち、中項目1の「市民病院が担うべき医療」について、長野市民病院からご説明をお願いできればと思います。

(市民病院)

資料5-1～2

大項目第1、中項目1「市民病院が担うべき医療」について説明

(中山委員長)

ご説明どうもありがとうございました。

「急性期後の患者に対する医療」の自己評価が5、それ以外はすべて4ということでございます。この項目に関しまして、ご質問ご意見等がございましたらお願いできればと思います。

(柳原委員)

20ページで説明がありましたが、訪問看護件数がすごく増えているということで、本当にありがたいことで素晴らしいことだと思いますが、訪問看護と老人福祉施設との関係はどのようなかなと思いました。病院が訪問看護をたくさん行っていくと、一方で施設にとってはどうなのか、少



し心配になりましたが、よくわかりませんので、教えていただければと思います。

(中山委員長)

いかがでしょうか。

(市民病院)

コロナ禍では、老人福祉施設への入所が厳しい状況になっていました。コロナを施設内に持ち込んでしまうと、施設自体の運営にも関わってくるため、患者さんの移動が厳しかったという部分で、在宅で診られる方が増えたという現実がありました。それが当院の訪問看護利用者が増えた一つの原因だと思いましたが、今は施設の管理もうまくできるようになっており、入所は通常に行われるようになってきていると思います。今後はもっと強力に連携をとっていきたいと考えています。

(柳原委員)

包括支援センターの職員の人にも結構訪問してくださるので、1人の人に対して複数から訪問するのはどうなのかなと思いました。

(市民病院)

実際には、1か所からの訪問ではなく、複数で協力を図りながら同じ人に訪問で入っていると思います。

(柳原委員)

ありがとうございます。

(中山委員長)

他にはいかがでしょうか。

(坂口委員)

21 ページの政策的医療ですが、小児救急に加えて、子どものこころ発達医療センターを開設されました。信大の本田教授は、発達障がい診療の人材育成事業に取り組まれており、貴院の青沼架佐賜先生は、長野県発達障がい指導医に認定されています。このセンター設置は、児童精神医療の北信地域の中枢を担う機能が期待され、高く評価したいと思います。この項目は、小項目ですが、意見として申し上げておきます。

(中山委員長)

他にはいかがでしょうか。

(川合委員)

生殖医療センターに関してお聞きします。妊娠が成立した場合に、分娩から産後に至るまでのフォローはどういう体制で行われているのでしょうか。

(市民病院)

当院には、産科がありませんので、妊娠されて安定期に入った方は、別の医療機関をご紹介します。

(川合委員)

地域の医療機関と連携をされているということですね。

(市民病院)

そうです。

(中山委員長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは自己評価は4ですが、委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。それでは委員会の評価は4とさせていただければと思います。

それでは次に、24 ページの中項目2、「患者サービスの向上」について、長野市民病院からご説明をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。

(市民病院)

資料5-1~2

大項目第1、中項目2「患者サービスの向上」について説明

(中山委員長)

どうもありがとうございます。「ボランティアの受入れ」が評価3で、それ以外はすべて4ということでございます。質問コメント等ございましたら、よろしく願いいたします。

(小林委員)

ボランティアの受入れの自己評価が3となっていますが、「はづきの会」というのは、市民病院とは別の団体ですね。そうすると、こちらの意思で動くものではないと思いますが、会員の人数が少しずつ少なくなっているということが、病院側の努力で何か改善できるということであれば、評価は3でもいいと思いますが、我々がコントロールできない問題に対して、それをこちら側の評価にしてしまうのは、何かおかしいと思いますが、いかがでしょうか。

(市民病院)

病院の中にも、ボランティアさんを担当している部署がございまして、活動をサポートしております。ボランティアさんの抱える悩みや問題を病院でも把握しておりまして、それに対しては、日々、支援していくべきと考えていますが、なかなかうまくいかない部分がございます。おっしゃるように、ボランティアさん側の問題だと思いますが、活動が活発になるような支援がもう少し何かできたのではないかと考えております。

(小林委員)

わかりました。逆に、病院としてボランティアをサポートして、どういう状態になれば、評価が5や4になるのか、そういう基準がある程度なければ、担当の方もやりようがないのではないのでしょうか。ご検討いただければと思います。

(柳原委員)

はづきの会のメンバーには、友達が何人もいますが、市民病院ができた時からボランティアをやりたいという意志を持って取り組んでくださったメンバーです。本当に一生懸命にやってくさる人たちで、最初の頃は、病院に来る時に、ボランティアに案内してもらって本当によかったという声がたくさんありました。それが、みんな高齢になって、気持ちはあるけどなかなか活動ができなくなっているというのが現状だと思います。今おっしゃられたように、病院の中の評価ではなくて、外からの支援に対して、評価の対象になっているのが変だなと思いました。

(小林委員)

目標の管理は、努力の結果と連動するから、評価をする意味があるわけですね。担当者がボランティアをもう少し支援する方法があったかもしれないということであれば、それを一つの目標として活動できますのでいいですが、こちらで努力、介入できないのであれば、それを評価の対象にするのは、あまり意味がないのではないかとということです。

(坂口委員)

私は、病院側がボランティア活動をバックアップする責務があると思います。バックアップの仕方としては、環境の整備や、ボランティアを募ったり、ボランティア活動はこんなふうに患者さんに喜ばれていますとか広報活動をしたりすることなどが考えられます。政府も全員参加型社会の実現を推進していますし、ボランティアは、病院の利害関係者の中に位置付けられていますので、そのボランティアの活動がより高まるように、社会全体としてボランティア活動がリスペクトされるような、バックアップをしていくことは病院の責務の一つであると思います。

(柳原委員)

ボランティアを支援する取組をしているということであれば、もっと評価を上げてもいいのかなと思います。

(中山委員長)

ありがとうございます。

ただこの項目は、小項目です。従いまして、委員会の評価の範囲ではありませんので、よろしくをお願いします。

他にはよろしいでしょうか。

それでは、自己評価は4ですが、委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。それでは、評価を4とさせていただきます。

次に、30 ページの中項目の3、「医療に関する調査及び研究」について長野市民病院からご説明をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

(市民病院)

資料5-1～2

大項目第1、中項目3「医療に関する調査及び研究」について説明

(中山委員長)

ありがとうございます。それでは質問コメント等があれば、いただければと思います。

いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは自己評価は4でございますが、委員会評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございました。

それでは、続きまして、中項目の4、「医療提供体制の充実」について長野市民病院からご説明をお願いします。よろしくお願ひいたします。

(市民病院)

資料5-1～2

大項目第1、中項目4「医療提供体制の充実」について説明

(中山委員長)

ご説明どうもありがとうございました。

小項目すべて自己評価が4ということでございます。いかがでしょうか。質問、コメント等よろしいですか。

それでは自己評価は4でございますが、委員会評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございました。それでは委員会評価を4とさせていただければと思います。

次に、45 ページの大項目の第2、中項目1、「経営管理機能の充実」につきまして、長野市民病院からご説明をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。

(市民病院)

資料5-1~2

大項目第2、中項目1「経営管理機能の充実」について説明

(中山委員長)

ご説明どうもありがとうございました。

それではご質問コメント等いただければと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは自己評価は4でございます。委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございました。それでは委員会評価を4とさせていただければと思います。

続きまして50 ページの、中項目2の「働きやすくやりがいのある職場環境の整備」について、長野市民病院からご説明をお願いできればと思います。よろしく願いいたします。

(市民病院)

資料5-1~2

大項目第2、中項目2「働きやすくやりがいのある職場環境の整備」について説明

(中山委員長)

ご説明どうもありがとうございました。

小項目は、評価3が2項目で、4が1項目ということでございます。

いかがでしょうか。質問コメント等いかがでしょうか。

(小林委員)

確認ですが、人事評価制度の再構築は翌年度に持ち越されたとか、職員満足度調査は実施が見送られたとありますが、評価3というのは、「計画を概ね予定どおり実施した」というのが判断基準になっています。実施していないと書かれていますが、トータルとしては「概ね予定どおり」という評価をしたということでしょうか。

(市民病院)

人事評価制度については、着実に検討しています。全く実施しなかったわけではなく、月に2

回程度、毎回金曜日に、着実にケースの検討を進めております。完成形として、職員に提示をして、具体的に制度が動き出しているところまでは進んでおりませんので、評価は3と判断しております。

(小林委員)

人事評価制度の構築というのは、もちろん大変なことですし、もともと当初の予定からしても、着実に積み上げていく過程であるという計画だったから、3と評価したわけですね。

(市民病院)

そうです。

(小林委員)

わかりました。

(中山委員長)

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

(北村委員)

同じところですが、いろいろ検討をされて、努力をされたのはわかりますが、その結果はどうだったのでしょうか。あまり良い結果でも、悪い結果でもなかったから、評価は3ということなのでしょう。

(市民病院)

評価には定量的な評価と定性的な評価がございまして、この人事評価制度については、ある程度の形ができて、試行運用するとか、あるいはパブリックコメントのように職員に評価をしてもらうような段階になれば、評価は4だと思いますが、おっしゃるような結果が悪かったというようなニュアンスではなくて、現時点では、制度について検討中の積み上げ段階であり、完成途上にあるということで3と判断しているところです。

(北村委員)

過程を評価するというのは、あまり評価とは言えないですね。ここを3とするのか、4をつけるのか、2をつけるのか、非常に迷うところです。検討を行って、良い結果が出たのかどうか、あやふやなところを感じます。

(小林委員)

これは目標管理ですから、特に人事評価制度は大きい問題ですので、2年計画、3年計画で構築するという目標管理をしないと進んでいきませんよね。3年計画とした場合には、当然ながら2年目の段階ではまだ完成していきませんが、段階ごとに進めていくために工程

表をつくるわけですから、工程表と比べてどうだったのかという観点で評価していかないと、結局、評価が曖昧なものになってしまうと思います。一生懸命やりましたというだけになってしまう。

(坂口委員)

今のご意見に賛成ですが、評価には構造とプロセスとアウトカムの3つがあります。その中のプロセスは評価理由として読ませていただきますが、どんな成果が得られたのかというアウトカムの部分にもう少し踏み込んでいただいてもいいのかなといつも思っております。例えば、離職率の状況や、長期にメンタルで休む職員の増減などがアウトカムになると思いますので、そこまで踏み込んでいただければと思います。

それと、トップダウンのプランはあるのですが、職員全体をボトムアップとして巻き込んで、エンジンを職員に持たせるようなマネジメントができればいいと思います。

(中山委員長)

ありがとうございます。

いろいろとご意見がおありかと思いますが、自己評価は3ということであります。

委員会としても、評価は3ということでもよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。それでは評価は3とさせていただきます。是非、次回は、4を期待しております。

それでは次に、53 ページの大項目の第3、中項目1、「効率的な経営の推進」について、長野市民病院からご説明をお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

(市民病院)

資料5-1~2

大項目第3、中項目1「効率的な経営の推進」について説明

(中山委員長)

ご説明どうもありがとうございました。

それでは質問、コメントをいただければと思います。よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。

(小林委員)

今後の課題になると思うのですが、57 ページの「診療報酬請求漏れや返戻・査定減の防止」の自己評価は3となっていますが、これを見る限りでは、3,600 万円の増収が図られたということで、良くなったように見えるわけですね。結局、何をもって概ね予定どおりできたのかが明確で

ないから、3なのか4なのかよくわからない感じがします。ですから今後は、基準を明確にしておく必要があると思います。これが3ということは、本当は3,600万円よりもっと増収が図られたはずということになります。

(市民病院)

返戻・査定委員会や、増収委員会という院内のプロジェクトチームを作って推進していますが、なかなか思った以上に結果が出ない部分がありまして、例えば、返戻率6%という目標についても、もう少し低くしたいと思いますし、最低でも前年維持という部分も達成できていません。曖昧な部分があるのは否めないかもしれませんが、病院として力を入れている割には結果が出ていないという点で、自己評価が辛くなっている一つの要因かと思います。

(小林委員)

わかりました。

(中山委員長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

(川合委員)

説明はありませんでしたが、未収金残高が4,680万円とあります。各病院とも未収金に対しては、大変苦勞していますが、回収不可能なケースもかなりあるのではないかと思います。例えば、外国の方が帰国してしまった場合や、行方が不明になっているなど、いろいろケースがあると思いますが、回収不可能なケースに関しては、特別に処理するような取扱いはされていますか。

(市民病院)

不納欠損処理についてですが、随時処理をしております。私たちとしては、できるだけ回収を目的にしておりますので、報告書に記載がありますように、回収が困難なケースも、弁護士事務所等に依頼して、ぎりぎりまでは交渉に当たるという対応を取っております。弁護士事務所とのやり取りの中で、帰国や行方不明となった場合には、不納欠損処理を随時行っていく予定でございます。

(川合委員)

これまでの経験で、どうしても回収が無理なケースは、特別な処理をしていかないと、どんどん未収金がたまってしまって、担当の人たちのモチベーションが下がってしまうということがあると思います。回収できるものは、きちんと回収につなげられるように、職員の意欲が出るように、成果が見えるようなかたちにしていったほうがいいのではないかと思います。

(中山委員長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいですか。



それでは自己評価は4でございますが、委員会評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。それでは委員会評価は4としたいと思います。

続きまして60ページの中項目2、「経営基盤の確立」について長野市民病院からご説明をお願いできればと思います。

(市民病院)

資料5-1~2

大項目第3、中項目2「経営基盤の確立」について説明

(中山委員長)

ご説明どうもありがとうございました。それでは質問コメントをいただければと思います。よろしいでしょうか。

それでは自己評価は4でございます。委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございました。続きまして61ページの、大項目の第4、中項目1、「施設設備等に関する事項」につきまして、長野市民病院からご説明をお願いできればと思います。

(市民病院)

資料5-1~2

大項目第4、中項目1「施設設備等に関する事項」について説明

(中山委員長)

ありがとうございました。それでは質問コメントをいただければと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは自己評価は4でございます。委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございました。委員会評価も4とさせていただければと思います。

最後に68ページの大項目第8、中項目1、「施設及び設備に関する計画」につきまして、長野市民病院からご説明をお願いできればと思います。

(市民病院)

資料5-1~2

大項目第8、中項目1「施設及び設備に関する計画」について説明

(中山委員長)

ご説明どうもありがとうございました。それでは質問コメントをいただければと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは自己評価は4でございます。委員会評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございました。それでは一通り審議が終わりました。

本日の結果につきましては、事務局で整理していただきまして、次回の評価委員会で確認し、意見書案について審議したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

続きまして、(6)中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に関する評価について、事務局からご説明をお願いできればと思います。よろしくお願ひいたします。

(事務局)

それでは、資料の6-1をご覧ください。これは、6月30日付けで、長野市長宛に提出されました、第2期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績報告書でございます。また、下のA3の資料6-2につきましては、法人の自己評価を一覧表にしたものでございます。先ほどご説明しました評価実施要領に基づき、この報告書に沿いまして、中項目ごとの評価をしていただきますので、よろしくお願ひいたします。

(中山委員長)

ありがとうございます。それでは、審議の進め方ですが、長野市民病院から一括してご説明いただきます。中期目標期間の実績については、令和元年度、令和2年度の実績から類推したものですので、報告内容は、先ほどの令和2年度の報告と重なるものと思われまゝです。したがって、ご説明については、重複する部分は極力省略し、簡潔にお願いいたします。

その後、中項目ごとに委員の皆様からご質問とご意見をいただいた上で、評価委員会としての評価点を提示するようにしたいと思います。よろしいでしょうか。

(一同承認)

それでは、長野市民病院から説明をお願いします。

(市民病院)

資料6-1~2

中期目標期間終了時に見込まれる業務実績に関する評価について説明

(中山委員長)

ありがとうございました。

それでは時間が少し押しておりますので、駆け足で進めたいと思います。こちらの中項目ごとに確認をしていきたいと思います。

まず、中項目1、「市民病院が担うべき医療」でございます。ご意見ご質問等ございますでしょうか。

自己評価は4でございます。委員会評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございました。

次に中項目2、「患者サービスの向上」についてでございます。

質問コメントいかがでしょうか。よろしいですか。

自己評価は4でございます。委員会評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。

次に、中項目3、「医療に関する調査及び研究」についてでございます。

質問コメント等いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

自己評価は4でございます。委員会評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

では次に、中項目4、「医療提供体制の充実」についてでございます。

質問コメント等いかがでしょうか。よろしいですか。

自己評価は4でございます。委員会評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。

次の中項目1、「経営管理機能の充実」についてでございます。

質問コメント等いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。

自己評価は4でございます。委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

次に中項目の2、「働きやすくやりがいのある職場環境の整備」についてでございます。  
質問コメント等いかがでしょうか。よろしいですか。  
自己評価は3でございます。委員会の評価も3でよろしいでしょうか。

(一同承認)

続きまして、中項目1、「効率的な経営の推進」について、質問コメント等いただければと思います。いかがでしょうか。よろしいですか。

自己評価は4でございます。委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

それでは、次の中項目の2、「経営基盤の確立」についてでございます。  
質問コメントいただければと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。  
自己評価は4でございます。委員会の評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございます。最後でございます。中項目の1、「施設設備等に関する事項」について、質問コメント等いただければと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは自己評価は4でございます。委員会評価も4でよろしいでしょうか。

(一同承認)

ありがとうございました。それでは一通りの審議が終わりました。

本日の結果は事務局で整理していただき、次回の評価委員会で確認し、意見書案について審議したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(小林委員)

全体で中項目が10、小項目が34の評価項目がありますが、この評価表を見ると、それぞれが同じ重さのように見えますが、一番心配なのは、「働きやすくやりがいのある職場環境の整備」の評価が低いことです。経営という観点から見ると、ここで働く皆さんの士気が、他の評価項目にすべて影響してくると思います。働く皆さんが、やりがいのある職場環境という認識があつてこそ初めて他の指標も上がってくる、一番ベースの重要なところだと思います。その評価が低いということは、他の項目に比べて、圧倒的に8割、9割の重さがあるのではないかと思います。ですからこの項目については、段々に改善していくということではなく、重点的に見直しをしていく必要があると思いますので、ご検討いただきたいと思います。

(中山委員長)

ありがとうございます。貴重なご意見ありがとうございました。ぜひご検討いただければと思います。

他に何かございますか。よろしいですか。

それでは以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたしました。

円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。

また、委員各位からは、貴重なご意見をいただきまして本当にありがとうございます。

それでは、事務局へ進行をお返したいと思えます。

(事務局)

委員長どうもありがとうございました。

次第の7、その他といたしまして、事務局から今後の予定につきまして、ご説明申し上げます。

本日はありがとうございました。事務連絡をいくつか申し上げます。

次回の第2回の評価委員会につきましては、8月5日木曜日の開催を予定しておりますのでよろしくをお願いします。

先ほど委員長からお話がありましたが、本日頂戴しましたご意見を事務局で整理させていただき、次回、意見書案についてご審議をいただきたいと思えますので、よろしくをお願いします。

本日、ご意見を頂戴しましたが、例えば医療提供体制の充実などの項目で、ご意見がない部分がございます。冒頭でも申し上げましたけれども、ご意見の記入用紙をお配りしておりますので、こちらにまたご意見を追加で頂戴できれば、大変ありがたいと思っております。以上でございます。

以上をもちまして、令和3年度第1回地方独立行政法人長野市民病院評価委員会を閉会いたします。

長時間にわたりご審議をいただきまして、ありがとうございました。

○ 閉 会 午後4時00分